

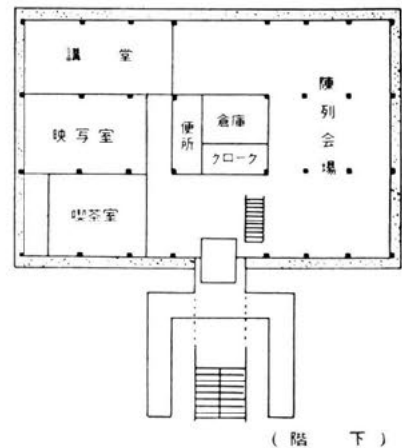
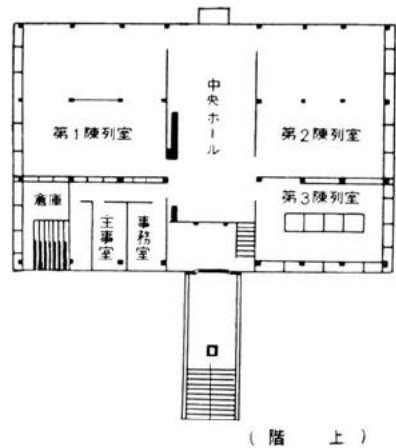
1963

石橋美術館 館報

No. 7

目 次

1. 設 立 趣 旨	1
2. 位 置・設 備	1
3. 機 構・運 営	1
4. 開館時と入館料	2
5. 1962年度入場者一覧	2
6. 1962年度開催展覧会一覧	3
7. 1962年度平常陳列一覧	3
8. 1962年度平常陳列目録	3
9. 九州の古陶磁展	7
10. *現代日本画の流れ、第II部展	9
11. 第5回西日本洋画新人秀作展	9
12. シャガール展	11
13. マイヨール展	11
14. ピカソ(エッチング)と模写による 西洋名画展	12
15. 東洋古陶磁展	13
16. ピカソ・ゲルニカ展	14
17. 主 な 来 館 者	16
18. 1962年度各種活動について	16
19. 講演会・その他	16
20. 講 習 会	17
21. 階下ギャラリー展覧会	17



設 立 趣 旨

石橋美術館は、石橋正二郎氏が、昭和31年4月26日、ブリヂストンタイヤ株式会社創立25周年を記念して、社会公共の福祉と文化向上のために、郷土である久留米市に寄贈された石橋文化センターの中心施設として開設されたものである。

位 置・設 備

名 称	本美術館は「石橋美術館」と称し、英文では「ISHIBASHI ART GALLERY」と記す。これは設立者石橋正二郎氏を記念したものである。
位 置	福岡県久留米市野中町 石橋文化センター内。
面 積	1587平方米。鉄筋コンクリート二階建。
部 屋 割	階上 第一陳列室 第二陳列室 第三陳列室 中央ホール 事務室 主事室 倉庫 洗面室 階下 オープンギャラリー 講堂 映写室 喫茶室 荷物預所 便所 倉庫
照 明	蛍光灯 白熱灯 併用
換 気	送風機による強制換気及び除湿機を併用しての湿度調整

機 構・運 営

本美術館は財団法人久留米文化振興会がこれを経営し、その運営は運営委員会に委ねられている。

機構は次表の通り。(昭和38年4月現在)

財団法人 久留米文化振興会

顧 問	石 橋 正二郎	杉 本 勝 次	青 木 重 憲	
理 事 長	井 上 義 人			
副理事長	石 橋 幸 八	本 村 恒次郎	龍 頭 文吉郎	
常務理事	藤 田 英 一			
理 事	板 垣 政 参	安 田 理 雄	牛 島 慶 二	倉 富 正 月
	近 藤 徳之助	吉 山 武	木 下 勇	高 木 巖
監 事	浅 田 昇	斉 田 勇		

石 橋 美 術 館

顧 問	細 川 護 立	坂 本 繁二郎	杉 本 勝 次
参 与	豊 田 勝 秋	海老原 喜之助	

運 営 委 員 会

委 員 長	石 橋 幹一郎					
委 員	団 伊 能	富 永 惣 一	谷 信 一	今 泉 篤 男	嘉 門 安 雄	
	河 北 倫 明	谷 口 鉄 雄	伊 原 宇三郎	猪 熊 弦一郎	岩 佐 新	
	岸 田 勉					
主 事	田 中 幸 夫	学 芸 員	山 上 隆之輔			

開館時と入館料

開 館 時 間 午前 9 時——午後 5 時 30 分 (4 月 1 日—— 9 月 30 日)

午前 9 時 30 分——午後 5 時 (10 月 1 日—— 3 月 31 日)

休 館 年末 12 月 28 日より 年始 1 月 1 日まで

別に陳列替のため臨時休館がある

入 館 料 (石橋文化センター入園料とも)

個 人			団 体 (30 名以上)		
一 般	60 円		一 般	50 円	
大学・高校生	40 円		大学・高校生	30 円	
中学・小学生	30 円		中学・小学生	20 円	

保護者同伴に限り未就学児無料。尚、特別展の時には料金の変更を行なうことがある。

1962 年度 入場者一覽

月別	開館日数	個 人			団 体			フ リ ー バ ス	計	一日平均
		一 般	大 学 高 校 生	中 学 小 学 生	一 般	大 学 高 校 生	中 学 小 学 生			
4	28	4,152	553	520	1,400	181	1,180	346	8,332	297
5	28	3,993	436	375	1,052	778	5,320	309	12,263	438
6	30	2,108	474	125	530	0	897	184	4,318	144
7	31	1,130	585	248	302	30	0	56	2,351	76
8	31	2,009	542	612	184	0	177	64	3,588	116
9	30	1,752	250	312	451	0	931	55	3,751	125
10	30	2,443	333	325	967	731	2,251	114	7,164	239
11	30	3,678	547	506	1,141	607	482	379	7,340	245
12	26	1,916	268	151	284	527	168	298	3,612	139
1	28	686	205	89	84	0	0	111	1,175	42
2	27	2,748	935	538	538	727	104	249	5,839	216
3	31	9,190	3,746	1,967	1,067	2,297	2,466	1,303	22,036	711
計	350	35,805	8,874	5,768	8,000	5,878	13,976	3,468	81,769	234

1962年度開催展覧会一覧

展 覧 会 名 称	期 間	日 数	入 場 者 数								計	一日平均
			個 人			団 体			フリース パス			
			一般	大 学 高校生	中 学 小学生	一般	大 学 高校生	中 学 小学生				
九州の古陶磁 現代日本 画の流れ第2部展	4月11日－ 5月13日	33	5,799	674	571	1,369	914	2,775	631	12,733	385	
第5回 西日本洋画新人 秀作展	6月1日－ 7月1日	31	2,234	511	134	530	0	897	214	4,520	146	
ピカソのエッチングと模 写による西洋名画展	10月9日－ 11月16日	39	3,874	571	634	1,127	1,230	1,836	229	9,501	244	
東 洋 古 陶 磁 展	11月17日－ 12月16日	30	3,478	441	296	974	647	187	509	6,532	218	
ピカソ・ゲルニカ展	2月23日－ 3月10日	16	9,572	4,034	1,932	856	2,931	1,425	1,436	22,186	1,387	

1962年度平常陳列一覧

期 間	日 数	入 場 者 数								計	一日平均
		個 人			団 体			フ リ ー パ ス			
		一 般	大 学 高校生	中 学 小学生	一 般	大 学 高校生	中 学 小学生				
5 月16日—5 月30日	15	1,344	86	103	482	45	3,670	20	5,750	383	
7 月 3 日—10月 7 日	97	5,220	1,383	1,179	1,222	30	1,969	152	11,155	115	
12月18日—2 月21日	59	1,782	546	328	397	63	0	197	3,313	56	
3 月12日—4 月24日	44	3,087	626	560	1,064	60	1,292	150	6,839	155	
計	215	11,433	2,641	2,170	3,165	198	6,931	519	27,057	125	

1962年度 平常陳列目録

〔日 本 作 品〕

1	中 丸 精 十 郎	滝	(107.5 × 70.5) cm	1890年作
2	百 武 兼 行	臥 裸 婦	(97 × 187)	1881年頃
3	浅 井 忠 忠	ヴェニス風景(水彩)	(36 × 22)	1902年作
4	黒 田 清 輝	針 仕 事	(80 × 65)	1890年作
5	〃	鉄 砲 百 合	(61.5 × 81)	1909年作
6	藤 島 武 二	天 平 の 面 影	(198.5 × 94)	1902年作
7	〃	自 画 像	(47 × 32.5)	1904～5年作
8	〃	ヴェルサイユ風景	(73 × 91)	1906～7年作
9	〃	ネ ミ 湖	(26.5 × 35)	1908年作
10	〃	池	(31 × 26)	1908～9年作

11	藤	島	武	二	ヴィラ・デステの池	(24 × 33)	1908~9年作
12		"			噴水のある池	(24 × 33)	"
13		"			池畔の女	(33 × 31)	"
14		"			糸杉	(33 × 24)	"
15		"			唐様三部作	(79 × 138.5)	1912年作
16		"			五剣山の日の出	(53 × 73.5)	1932年作
17		"			奈良風景	(54 × 46)	1934年作
18		"			琉球の女(パステル)	(36 × 29)	1936年作
19		"			蒙古の日の出	(42 × 55)	1937年作
20	岡	田	三	郎助	臥裸婦	(45 × 91.5)	1900年作
21		"			ばらの少女	(119 × 79)	1901年作
22		"			髪梳く女	(60 × 46)	1915年作
23		"			水浴の前	(200 × 76)	1916年作
24	白	滝	幾	之助	東北田舎小景	(38.5 × 45)	
25	満	谷	国	四郎	坐婦	(65 × 54.5)	1913年作
26		"			ブルターニュ風景	(46 × 55.5)	"
27		"			焦山	(45.5 × 53)	1924年作
28		"			裸婦	(53 × 45.5)	1925年作
29		"			裸婦	(72 × 60)	"
30		"			脱衣	(64 × 31)	1926年作
31		"			ばら・(絶筆)	(37.9 × 45.5)	1936年作
32	中	沢	弘	光	「思い出」下図	(69 × 35)	1909年作
33		"			ピサリ	(24 × 31)	1921年作
34		"			ナポリ	(25 × 34)	"
35		"			ヴェニス	(37 × 28)	1922年作
36		"			ミラノ	(24 × 19)	1921年作
37		"			ローマ	(24 × 19)	"
38		"			ヴェニス	(24 × 19)	"
39	和	田	英	作	読書	(73 × 53.5)	1902年作
40		"			チューリップ	(80 × 65)	1927年作
41		"			早春・(富士)	(53 × 65)	1939年作
42	石	川	寅	治博	農事忙	(91 × 11.7)	1947年作
43	吉	田			風景	(33 × 45)	
44		"			上高地	(45.5 × 60.5)	
45		"			ウダイプールの宮殿	(33 × 45)	1931年作
46		"			奔流	(97 × 130)	1936年作
47	青	木		繁	秋の夜(鉛筆淡彩)	(14.5 × 16)	1902年作
48		"			自画像	(81 × 60.5)	1903年作
49		"			"(色鉛筆)	(22.5 × 15)	
50		"			閻威弥尼(水彩)	(15 × 10.2)	1903年作
51		"			輪転	(27.3 × 37.6)	"
52		"			海	(10.3 × 15)	1904年作
53		"			丘に立つ三人(水彩)	(16 × 14)	"
54		"			農家	(31 × 29)	"
55		"			木立	(33 × 24)	"
56		"			春(水彩)	(16.3 × 32.3)	"
57		"			風景	扇面	"
58		"			女の顔(羽子板)	羽子板	"
59		"			水浴(水彩)	(14 × 25)	1904~5年作
60		"			海景	(35 × 71)	"
61		"			光明皇后	(38 × 72.5)	1905年作
62		"			雪景	(32.5 × 23)	1906年作
63		"			わだつみのいろこの宮	(181.5 × 70)	1907年作
64		"			月下滞船図	(41.5 × 57)	1908年作
65		"			春秋(水彩)	(44.5円型)	"
66		"			秋	(") (")	"

67	坂	本	繁二	郎	荒	海	(24 × 33)	1915年作
68		"			自	画	(45.5 × 37.5)	1929年作
69		"			放	牧	(79.5 × 99)	1932年作
70	石	井	柏	亭	傘	松 (ナポリ)	(50 × 60)	1923年作
71	金	山	平	三	母	田 の	(40 × 53)	
72		"			石	沢 の	(45 × 45)	
73	和	田	三	造	伊	豆 の	(45 × 53)	
74		"			教会	の見える風景	(31 × 41)	
75	辻			永	ハ	ルピンの冬	(33 × 45)	1917年作
76		"			フ	ォントネ・オ・ローズの春	(27 × 36.5)	1921年作
77	齊	藤	与	里	秋	景	(20.5 × 26.5)	
78	青	山	熊	治	男	の	(91 × 61.5)	
79	栗	原	忠	二	婦	人 群 像 (グワッシュ)	(35.5 × 45.5)	
80	藤	田	嗣	治	婦	人 像 (鉛筆)	(34.5 × 46.5)	1927年作
81		"			二	人 の 裸 婦 (銅版)	(39 × 55)	"
82		"			猫	室	(25 × 34)	1934年作
83		"			室	内	(38 × 46)	1943年頃
84		"			人	形 抱 く 子 供 (素描)	(42 × 51)	1948年作
85		"			裸	婦 (")	(34.5 × 46.5)	1949年作
86		"			女	と 猫 (")	(40 × 50)	
87		"			婦	人 像 (")	(40.5 × 32)	
88	小	出	楠	重	裸	婦	(70 × 46.5)	1925年作
89		"			"	(素描)	(50 × 35)	1926年作
90	安	井	曾	太	画	室 (木版)	(40 × 28)	
91		"			和	装 婦 人 (")	(40 × 28)	
92		"			洋	装 婦 人 (")	(40 × 28)	
93		"			静	物 (")	(28 × 40)	
94		"			蓄	音 器 (")	(40 × 28)	
95		"			外	房 風 景 (")	(28 × 40)	
96		"			秋	景 (")	(28 × 40)	
97		"			奈	良 に て (")	(28 × 40)	
98	遠	山	五	郎	婦	人 読 書 図	(80 × 65)	1922年作
99	片	多	徳	郎	芙	蓉	(45.5 × 37.5)	1924年作
100	坂	田	一	男	エ	ス キ ー	(33 × 23)	
101	平	賀	亀	祐	ア	ベリチフの時間	(100 × 81)	1928年作
102		"			古	い 巴 里 の 街 角	(120 × 144)	1954年作
103		"			サン・ポール・ド・レオン		(60 × 73.5)	1959年作
104	牧	野	虎	雄	け	し	(50 × 60.5)	
105	長	谷	川	利	動	物 園 風 景	(45 × 53)	
106		"			裸	婦	(53 × 45.5)	1938年作
107	須	田	国	太	櫛	原 風 景	(80 × 65.5)	
108	児	島	善	三	ト	レ ド 風 景	(50 × 100)	
109	青	山	義	郎	南	仏アルプス遠望	(52 × 45.5)	
110	林		倭	雄	フ	ラ ン ス 風 景	(52 × 45)	
111		"			サン	ト・ヴィクトワール山	(32 × 41)	
112	古	賀	春	江	誕	生	(91 × 116.8)	
113		"			海	水 浴 の 女	(91 × 116.8)	1923年作
114		"			海	女	(116.8 × 91)	"
115		"			鳥	籠	(111 × 145.5)	1929年作
116		"			素	朴 な 月 夜	(116.8 × 91)	"
117		"			単	純 な 哀 話	(116.8 × 91)	1930年作
118		"			感	傷 の 静 脈	(116.8 × 91)	1931年作
119		"			少	女	(116.8 × 91)	
120		"			岐	し き 伝 統	(111 × 145.5)	1931年作
121	佐	伯	祐	三	ガ	ラ ー ジ ュ	(60 × 73.5)	1927年作
122		"			テ	ラ ス の 広 告	(53.5 × 65)	"

123	田 崎 広 助	風 景	(50 × 61)	
124	中 西 利 雄	〃	(36 × 51)	
125	荻 須 高 徳	プロヴァンのフォンテーヌ広場	(50 × 61)	
126	〃	角 の 酒 場	(60 × 72.5)	
127	猪 熊 弦 一 郎	山 と 水	(66 × 81.5)	
128	〃	犬	(46 × 63)	
129	〃	犬 と 猫	(44 × 60)	
130	〃	作 品	(55 × 37.5)	
131	山 口 長 男	累 形	(91 × 91)	1958年作
132	荒 井 竜 男	魔 園	(39 × 49)	
133	棟 方 志 功	工 楽 両 妃 の 柵 (木版)	(65 × 49)	1960年作
134	三 岸 節	カーニユ・シュールメール	(55 × 46)	
135	脇 田 和	女 と か け す	(50 × 61)	1958年作
136	杉 全 直	き っ こ う	(228 × 182)	1961年作

〔彫 刻 作 品〕

1	戸 張 孤 雁	裸 婦	ブロンズ	24cm	
2	藤 川 勇 造	臥 裸 婦	ブロンズ	19cm	1930年作
3	山 本 豊 市	若 い 女	乾 漆	165cm	1956年作

〔模 写 作 品〕

1	ポ ン ペ イ 壁 画		藤 島 武 二 模写	
2	〃		〃	
3	〃 (ミ ル ラ)	ローマ時代(前1世紀—後1世紀)	長谷川 路 可	〃 フレスコ
4	〃 (パリファエ)	〃	〃	〃
5	〃 (シ ル ラ)	〃	〃	〃
6	〃 (フ ェ ドラ)	〃	〃	〃
7	〃 (カ ナ チェ)	〃	〃	〃
8	〃 (男 の 顔)	〃	〃	〃
9	オ ス チ ア 壁 画	〃	〃	〃
10	アルドブランデーニ(婚 礼 図)	〃	〃	〃
11	キリストの洗礼壁画部分	フ ラ ン チ ェ ス カ		
12	マ ド ン ナ と 聖 子	ボ チ チ ェ リ	〃	〃
13	聖 家 族	テ イ ツ イ ア ー ノ	島 村 三七雄	〃
14	インファンタ・マルガリータ肖像	ベ ラ ス ケ ス	山 下 新太郎	〃
15	マ リ ア ナ 女 王	〃	〃	〃
16	カステル・ガンドルフォの思い出	コ ロ ー	和 田 英 作	〃
17	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	ル ノ ア ー ル	島 村 三七雄	〃
18	水 浴 後 の 休 息	〃	勝間田 武 雄	〃

〔外 国 作 品〕

1	ミ レ ー	農 夫	素 描	
2	ジョージ・スミス	婦 人 像		1866年作
3	シ ス レ ー	レディースコープ(ガール海岸)		1897年作
4	ル ノ ア ー ル	青 帽 子 の 女		1918年作
5	リ ー ベ ル マ ン	イ タ リ ア の 少 女		1878年作
6	ル ク レ ル ク	風 景		
7	マ ル ヴ ァ ル	花		
8	マ テ イ ス	オ ダ リ ス ク		1926年作
9	モ ー リ ス ・ ド ニ	バ ッ カ ナ ール		1920年作

10	ヴ	ラ	マ	ン	ク	風	景	水	彩	
11	デ	ス	パ	ニ	ヤ	花				
12	ラ	プ	ラ	ー	ド	横	た	わ	る	女
13	デ	ュ	フ		イ	コ	ッ	の	あ	港
14	ブ	ラ	ッ		ク	金	ト	魚	鉢	
15						料		理	台	
16						葛				
17	ユ	ト	リ	ロ		ム	ー	ラ	ン	・
18	マ	リ	ー	ニ		二	頭	の	馬	と
19						馬		と	人	人
20						二	人	の	騎	士
21	ク	ラ	ー	ヴ	エ	鳥	籠	を	持	つ
22						王				
23	モ	ン	タ	ネ		ブ	ラ	タ	ナ	ス
24	フ	ィ	ド	ラ	ー	静				物
25	ロ	ジ	ュ	ラ	ン	風				景
26	ア	レ	シ	ン	ス	田	園	の	一	隅
27						木				根
28	ト	ー	マ	ス	・	夜	の	映	像	
29	ヴァ	ン	・	ド	・	化	粧	す	る	女

1942年作

1933年作

1956年作

〃

1957年作

1950年作

1951年作

〃

1954年作

1957年作

九州の古陶磁展

(4月11日—5月13日)

西日本新聞社、当館共催、会場1, 2, 3室

佐賀文化館長永竹威氏の尽力により、東京国立博物館始め九州各地所蔵家の優秀品を収集展示。

古 唐 津 系

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 耳 付 鉛 釉 壺 (玉泉寺銘) | 10 根 拔 茶 碗 (銘 鏡 山) |
| 2 た た き 手 鉛 釉 壺 | 11 星 絵 半 筒 茶 碗 |
| 3 茶 碗 (帆 柱 窯) | 12 象 眼 茶 碗 |
| 4 皿 (〃) | 13 草 絵 算 木 玉 水 指 |
| 5 彫絵草葉文徳利慶長二年在銘 | 14 斑 竹 節 香 炉 |
| 6 鏤 絵 芦 文 鉢 (片 口) | 15 流 し 釉 徳 利 (藤の川内窯) |
| 7 竹 に 鳥 文 火 入 | 16 芦 絵 文 水 指 (道納屋窯) |
| 8 鏤 絵 火 入 | 17 草 芽 文 皿 (道 園 窯) |
| 9 鏤 絵 芦 文 鉢 (円 形) | 18 絵唐津二重点文様水指 |

高 取, 上 野, 八代系

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 19 高 取 一 重 口 水 指 | 25 上 野 結 文 手 付 鉢 |
| 20 高 取 耳 付 茶 入 銘 高 砂 (白旗山窯) | 26 上 野 白 釉 壺 |
| 21 高 取 茶 入 銘 折 釘 (小石原窯) | 27 八代鼠釉象嵌山水文皿 |
| 22 高 取 茶 入 銘 さ さ 枕 (〃) | 28 小 代 海 鼠 釉 水 指 |
| 23 高 取 くだ 耳 付 流 し 釉 水 指 | 29 小 代 飛 白 文 皿 (在 銘) |
| 24 上 野 耳 付 水 指 | |

薩摩、柳原系

- 30 薩摩 唐 児 像
31 " 色 絵 椿 絵 茶 碗
32 " 蛇 蛻 釉 茶 碗 銘 城 山
33 " 肩 衝 茶 入 銘 山 路

- 34 柳原 青磁二閑人耳付水指
35 " 朝鮮三島写水指
36 " 伊羅保写茶碗

三河内、現川、長与、龜山、鵬ヶ崎系

- 37 三河内 吊 花 生 (蛇の目傘)
38 現川 鷺 絵 中 皿 (5 客)
39 " 降り藤絵四方隅切四方鉢
40 " 染付穂波文向付 (3 客)
41 長与 三 彩 香 炉

- 42 長与 三 彩 皿
43 龜山 染付唐児文台鉢
44 鵬ヶ崎 染付字文皿 (彫銘天保年製)
45 " 染付雲鳥文盃台

肥前赤絵系

肥前磁器創業期系

- 46 染付 山 水 図 皿
古伊万里系
48 草 花 文 徳 利
49 彩 絵 秋 草 図 香 炉
50 彩 絵 牡 丹 文 蓋 物
51 彩 絵 男 の 像
52 鏝 釉 彩 鳳 凰 図 角 瓶
53 染付彩絵柳さくら梅文角徳利
54 染 付 唐 婦 人 絵 角 壺
55 染 錦 緑 端 婦 人 図 ひげ 皿
56 彩 絵 菊 絵 文 鮎 皿
57 荒 磯 赤 玉 文 鉢

- 47 染付有田辰砂草花文小皿

- 58 赤 玉 キ リ ン 見 込 鉢
59 染 錦 琴 高 仙 人 赤 玉 鉢
60 唐 草 文 蓋 物
61 染 錦 美 人 立 像
62 染 錦 虫 籠 形 地 文 香 炉
63 染 錦 桐 鳳 凰 文 花 瓶
64 彩 絵 桜 舞 踊 図 大 皿
65 染 錦 藤 桜 舞 踊 図 大 皿
66 染 錦 獅 子 図 壺
67 横 浜 異 人 館 図 角 大 皿

柿右衛門系

- 68 彩 絵 紅 葉 に 鹿 香 炉
69 彩 絵 紅 葉 に 鹿 深 鉢
70 染 付 彩 絵 草 花 文 鉢
71 彩 絵 婦 女 立 像
72 陶 板 竜 文 様 腰 瓦
73 彩 絵 三 果 文 皿
74 彩 絵 松 竹 梅 図 徳 利
75 彩 絵 竹 虎 文 鉢

- 76 彩 絵 地 文 布 袋 像
77 彩 絵 草 花 地 文 三 角 皿
78 彩絵唐草ようらく文飯茶碗 (3 客)
79 染 付 竜 田 川 図 皿
80 彩 絵 牡 丹 鳳 凰 文 象 置 物
81 彩 絵 唐 草 文 菊 文 平 皿 (渋右衛門)
82 青磁彩絵耳付桃香炉 (松ヶ谷小城藩窯)

鍋島藩窯系

- 83 染 付 麻 葉 文 皿
84 墨はじき青海波文宝づくし桃図皿
85 彩 絵 籠 目 桐 葉 文 皿
86 彩 絵 花 筏 文 皿
87 彩 絵 桜 花 文 皿 (3 枚組)

- 88 彩 絵 幾 何 文 皿 (3 枚組)
89 唐 花 卷 物 文 高 台 皿
90 芦 波 蟹 文 皿
91 せ き れ い 図 皿

小坂外相来館

(6月17日)



グッイ・ランディ両氏来館

(11月25日)

向って右 在日国際赤十字代表

ロベルト・グッイ氏

左 仏大使館参事官

ビエール・ランディ氏



慶応義塾大学塾長

高村象平氏来館

(4月24日)

“九州の古陶磁”
“現代日本画の
流れ第Ⅱ部”展

(4月11日—5月13日)



古唐津系古陶磁 ↑

伊東深水「聞香」

←

鷹巢豊治氏講演会
「九州の陶磁」 (4月14日)



永竹威氏連続講演会
「九州の古陶磁について」 (4月15日・22日・29日)



〔金 賞〕 「奴婢のモニュマン」 坂 口 昭 美

〔銀 賞〕 「形」 矢 田 道 也

第 5 回
西 日 本 洋 画
新 人 秀 作 展

(6 月 1 日 — 7 月 1 日)

出 品 者 座 談 会



審 査

右 嘉 門 安 雄 氏

左 谷 口 鉄 雄 氏

第 2 回
夏季洋画講習会

(8 月21日－ 8 月26日)

講 習 会 場 →

複製シリーズ	シャガール	(7 月 3 日－ 7 月31日)
//	マイヨール	(8 月 1 日－ 8 月31日)

シャガール「キリスト」

マイヨール「着衣しようとする裸婦」

ピカソ（エッチング）と模写による 西洋名画展

（10月9日—11月18日）



↑ 会場の一部

向って左より

アングル「泉」

コロー「カステル・ガンドル
フォの思い出」

ミレー「落穂拾い」

マネ「メリー・ローラン」

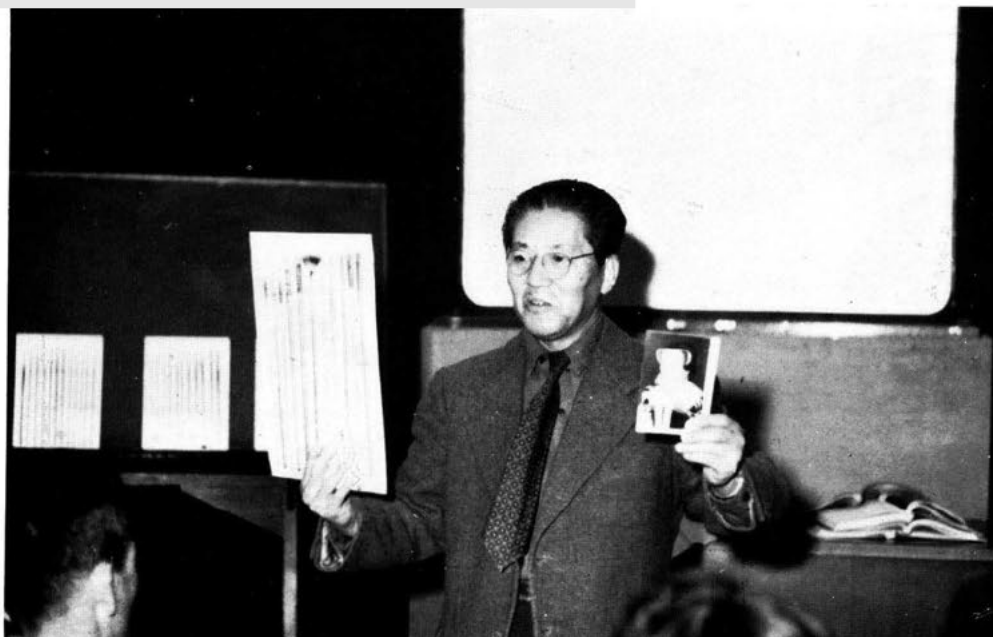
←

ピカソのエッチング会場

高田力蔵氏講演会

「西洋名画の模写」

（11月3日）



東洋古陶磁展

(11月17日—12月6日)



青白磁日月壺を鑑賞する石橋正二郎氏

南宋吉州窯木葉天目茶碗 (重文)



太宰府地方発見品を調査中の

東大教授 三上次男氏

解説する

九大助教授 岡崎敬氏

小山富士夫氏講演会

「東洋古陶磁について」

（11月18日）

→

N H K テ レ ビ 放 送

“ 青 木 繁 ”

解 説 河 北 倫 明 氏

（12月5日）

←

エリック・ニュートン氏講演会

「英国20世紀絵画の
古典派とロマン派」

（3月6日）

→

ピカソ・ゲルニカ展

(2月23日—3月10日)



前列右は西日本新聞社
社長 野口 義 夫 氏



向って左 ゲルニカのタピスリー
右 「母親と死んだ児」



解説する 岸 田 勉 氏



来館した 坂 本 繁 二 郎 氏

『現代日本画の流れ』第Ⅱ部展

(4月11日—5月13日)

西日本新聞社、当館、共催。国立近代美術館後援。会場1, 2, 3室。

国立近代美術館の特別後援を得て昨年に引続き、大正、昭和の日本画の代表作多数を展示。

1	安	田	靱	彦	日	食	大正14年(1925)	軸
2	簗	木	清	方	三	遊	昭和5年(1930)	〃
3	菊	池	契	月	渥	園	〃 8年(1933)	〃
4	上	村	松	園	母	子	〃 9年(1934)	額
5	橋	本	関	雪	防	空	〃 17年(1942)	〃
6	中	村	貞	以	浄	春	〃 22年(1947)	〃
7	郷	倉	千	鞆	牡	丹	〃 24年(1949)	〃
8	吉	岡	堅	二	渥	原	〃 24年(1949)	〃
9	徳	岡	神	泉	鯉		〃 25年(1950)	〃
10	中	村	岳	陵	気	球	〃 25年(1950)	〃
11	伊	東	深	水	聞	香	〃 25年(1950)	〃
12	堅	山	南	風	白	雨	〃 26年(1951)	〃
13	前	田	青	邨	Y	氏	〃 26年(1951)	〃
14	梶	原	緋	子	花		〃 26年(1951)	〃
15	小	野	佐	喬	雨	の	〃 27年(1952)	〃
16	稗	田	一	穂	奇	異	〃 27年(1952)	〃
17	小	倉	遊	亀	O	夫	〃 28年(1953)	〃
18	山	本	丘	人	北	人	〃 30年(1955)	〃
19	杉	山		寧	孔	濤	〃 31年(1956)	〃
20	加	山	又	造	冬	雀	〃 32年(1957)	〃

第 5 回

西日本洋画新人秀作展

(6月1日—7月1日)

当館主催、会場、1, 2室。

1961年度西日本各地(九州、山口県)で開催された、各公募展の上位入選作品より37作家、44作品を選抜、陳列。当館運営委員による審査の結果、坂口昭美「奴婢のモニュマン」に金賞、矢田道也「形」に銀賞、中西和子「伝説Ⅱ」逆瀬川令子「赤いロンド」に銅賞を授与。

〔長崎県美術展〕

金賞	1	奴婢のモニュマン	知事賞	100	坂口昭美	④
	2	黒い化景	県教育委員会賞	80	神近昭	
	3	船とガスタンク	長崎市賞	40	脇山国利	④ 水彩
	4	街	県美術協会賞	100	小林典子	③

〔福岡県美術展〕

5	渥	(で つ)	県美術協会賞	60	陣内正司	
6	作	品	県教育委員会賞	50・80	谷川義和	
7	楊	棄・後	朝日新聞社賞	50・50	川添達成	
8	地	核	〃	60	田村隆継	
9	紋	様の像	福岡市教育委員会賞	100	後藤昭人	

〔南日本美術展〕

銅賞	10	赤いロンド	知事賞	100	逆瀬川 令子	
	11	花	鹿児島市長賞	100	沢井 政祥	②③④
	12	桜	県教育委員会賞	100	鳥取 昭治	
	13	或る記憶より	県町村長会賞	80	池水 寛治	

〔宮崎県美術展〕

	14	赤の階調	特選	40	金丸 通夫	④
	15	埴輪	〃	100	川崎 哲夫	
	16	レモン	〃	30	植村 哲夫	
	17	埋っているハニワ	奨励賞	50	辻野 精一	
	18	魚礁 I	〃	50	島田 宏祐	②③

〔山口県美術展〕

	19	熔接する人 M	文部大臣奨励賞	50	三原 俊彦	
	20	災害地 B	知事賞	50	原田 秀明	
	21	生きるもの	県議会議長賞	50	小田 照明	
	22	赤い船体	県教育委員会賞	30	森田 哲	③④

〔大分県美術展〕

	23	塔	文部大臣賞	120	小池 竜	
	24	造船 2	県教育委員会賞	40	津秋 次郎	
	25	秋思	大分放送賞	30	渡辺 洋美	

〔熊日総合美術展〕

銀賞	26	形	熊本日々新聞社賞	80	矢田 道也	
	27	工場のある街	〃 社長賞	60	松川 富士也	

〔佐賀県美術展〕

	28	松浦川ののりひび	知事賞	100	小川 末吉	④
	29	律	県文化会議賞	50	宮原 俊文	① ③
	30	少女	県議会議長賞	50	十時 通泰	
	31	仲よし姉妹	〃	60・60	金子 剛	④
	32	一人ぼっちの少女	毎日新聞社賞	100	本田 利光	

〔西部女性美術展〕

	33	青い記録・運命の綴針 記録 (前夜)	朝日新聞社金賞	40・100 100	小堺 景子	
銅賞	34	伝説 I, II	知事賞	100・100	中西 和子	② ④
	35	群像	県美術協会賞	100	桑野 智鶴	
	36	園 I, II	朝日新聞社銀賞	80・80	阿 美代子	
	37	岩肌	〃 銅賞	80	江上 睦幸	③

- ①……第1回展出品
②……第2回展出品
③……第3回展出品
④……第4回展出品

シ ャ ガ ー ル 展

(7月3日—7月31日)

平常陳列に併行して第3室に陳列。

童心と幻想の画家シャガールの複製を展示。

1	理 髪 店	複 製	1912年作
2	角 笛 を 吹 く 男	〃	1911年作
3	ス プ ー ン	〃	1912年作
4	狼の首のサーカス娘	〃	1927年作
5	わ が 家	〃	1943年作
6	田 園 情 景	〃	1944年作
7	魔法の城(ストラヴィンスキー、バレエ「火の鳥」より)	〃	1945年作
8	結婚の祭(〃)	〃	〃
9	雪 の 中	〃	1950年作
10	キ リ ス ト	〃	〃

マ イ ヨ ー ル 展

(8月1日—8月31日)

平常陳列に併行して第3室に陳列。

ギリシャ彫刻の伝統を現代に生かしたマイヨールの複製を展示。

1	横 た わ る 裸 婦	複 製
2	〃	〃
3	〃	〃
4	女 の ト ル ソ 習 作	〃
5	休 息 す る 裸 婦	〃
6	横 た わ る 裸 婦	〃
7	浴 み す る 女 習 作	〃
8	二 人 の 姉 妹	〃
9	着 衣 し ょ う と す る 裸 婦	〃
10	秋 の 風 景	〃

ピカソ (エッチング) と 模写による 西洋名画展

(10月9日—11月18日)

当館主催, 会場2, 3室。

ブリヂストン美術館所蔵のピカソ, エッチングは1930年頃の最も旺盛なる創作活動を示し, 又著名作家による西洋名画の模写は原画に忠実な模写で, ことに中学, 高校生に教材として多大の感銘をあたえた。

ピカソ エッチング (銅版画)

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1 足を組み合わせた花冠の裸婦 | 1930年 |
| 2 ゆ あ み | " |
| 3 カーテンの前に座っている女 | 1931年 |
| 4 被 布 を は ぐ 男 | " |
| 5 足 を ち ぢ め て い る 女 | " |
| 6 二人のカタロニアの酒飲み | 1933年頃 |
| 7 怪獣を見ている四人の子供 | " |
| 8 水浴している二人の裸婦左は胸像を見ている人間の顔 | 1933年 |
| 9 馬とアクロバットたち | " |
| 10 牡 牛, 馬 と 女 | 1934年 |
| 11 ミノタウロスと鳥の彫刻のある二人の男 | 1935年頃 |
| 12 蠟燭の火に照らされた女を見守る少年 | " |
| 13 二人の裸婦とレンブラントの肖像 | 1934年 |

彫刻家とアトリエ

- | | |
|------------------------------|--------|
| 14 座っている彫刻家, 横たわっているモデルと男の立像 | 1933年頃 |
| 15 裸婦像を見ている彫刻家とモデル | " |
| 16 胸像のまへの二人の女 | 1933年 |
| 17 モデルを見て制作している彫刻家 | " |
| 18 窓ぎわにいる彫刻家とモデル | " |
| 19 男の顔のデッサン, 背中から見た裸婦と少女 | " |
| 20 四人のモデルと首の彫刻 | 1934年 |

ミノタウロス (半獣神)

- | | |
|------------------------------|-------|
| 21 ミノタウロス, 酒を飲んでいる彫刻家と三人のモデル | 1933年 |
| 22 鳩を持った少女に導かれる盲目のミノタウロス | 1934年 |

模写による西洋名画

(原 作 者)	(画 題)	(模 写 作 者)
1 ローマ時代 (前1世紀～後1世紀)	ポンペイ壁画 (部 分)	藤 島 武 二
2 "	" (")	"
3 "	" (ミ ル ラ)	長谷川 路 可
4 "	" (パ リ フ ァ エ)	"
5 "	" (シ ル ラ)	"
6 "	" (フ エ ド ラ)	"
7 "	" (カ ナ チ エ)	"
8 "	" (男 の 顔)	"
9 "	オ ス チ ア 壁 画	"
10 "	アルドブランデーニ (婚礼図)	"
11 ボ ッ チ ェ リ ー (1444～1510)	マ ド ン ナ と 聖 子	"
12 フ ラ ン チ ェ ス カ (1420～1492)	キ リ ス ト の 洗 礼 (部 分)	不 詳
13 テ イ ツ ィ ア ー ノ (1477～1576)	フ ロ ー ラ	伊 原 宇 三 郎
14 "	聖 家 族	島 村 三 七 雄
15 ベ ラ ス ケ ス (1599～1660)	インファンタ・マルガリータ肖像	山 下 新 太 郎
16 "	マ リ ア ナ 女 王	"

17	レンブラン ト	(1606~1669)	画室	不詳
18	ターナー	(1775~1851)	雨・蒸気・速力	高田力蔵 1844年
19	アンゲル	(1780~1867)	泉	〃 1856年
20	コロネー	(1796~1875)	カステル・ガンドルフォの思い出	和田英作
21	ミレー	(1814~1875)	落穂拾い	高田力蔵 1857年
22	マネル	(1832~1883)	メリー・ローラン	岩佐新 1882年
23	ルノー	(1841~1919)	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	鳥村三七雄 1876年
24	〃		水浴後の休息	勝間田武雄 1919年
25	ピカソ	(1881~)	水女の顔	岩佐新 1923年
26	〃		裸婦	〃

東洋古陶磁展

(11月17日—12月16日)

毎日新聞社、当館共催、後援福岡県教育委員会。

春季の九州古陶磁展の姉妹展であり、小山富士夫氏の指導と九大考古学教室の鏡山、岡崎、両氏の尽力により東京、京都及び福岡県下の重要文化財を含む所蔵家各位の逸品多数の出品協力を得て、中国朝鮮と九州との関連を示す意義ある展示会として好評。

漢・唐

						(cm)
1	漢	緑釉	壺			高10
2	〃	怪獸				高20.5
3	〃	緑釉	獸環耳壺			高43.5
4		青白磁	日月壺			高78.7
5	北朝	官人	日俑			高23
6		青白磁	日月壺			高47.5
7		〃	〃			高41.3
8	唐	褐釉	瓶丸			高26.8
9	〃	白磁	鍍壺			高15.5
10	〃	三彩	鍍面硯			高36.7
11	〃	三彩	壺			高7.8
12	〃	三彩	壺			高18
13	〃	三彩	鍍耳壺			高33
14	〃	三彩	四俑			高18.5
15	〃	褐釉				高23
16	〃	武人				高67

宋・元

17	北宋	砧青磁	蟠竜壺			高25
18	〃	汝窯	青磁碗			径17
19	〃	〃	〃			径13
20	〃	定窯	白磁小皿			径13
21	〃	青白磁	鉢(イラン出土)			径18.8
22	宋	均州窯	小壺			高10.5
23	南宋	砧青磁	魚文小皿			径13
24	〃	赤絵	牡丹文碗			径15
25	〃	建窯	天目茶碗			径12.5
26	〃	吉州窯	木葉天目茶碗(重文)			径14.7
27	〃	官窯青磁	香炉			高9
28	〃	青白磁	四耳壺			高36
29	遼	緑釉	長頸壺			高31.8
30	〃	三彩	牡丹文盤			径27
31	〃	白釉	鶏冠壺			高23.5
32	〃	黄釉	長頸壺			高31.5
33	〃	緑釉	鶏冠壺			高31.5

34	元	磁州窯	繪高麗笹耳瓶	高28
明				
35	明 初	染 付	大 皿	径31
36	"	染 付	雲 波 文 瓶	高34.5
37	明	正 德	染付回教文字入香奩	高14.3
38	"	嘉 靖	染 付 竜 文 大 壺	高52.5
39	"	嘉 靖	赤 繪 竜 文 中 皿	径18.5
40	"	万 曆	赤 繪 大 皿	径28.5
41	"	嘉 靖	黄 地 紅 彩 中 皿	径15.7
42	"	天 啓	染 付 山 水 図 碗	径13.6
43	"	呉 須	赤 繪 大 皿	径36.3
朝鮮				
44	高麗	青 磁	陰 刻 文 蓋 物	高11.3
45	"	象 嵌 青 磁	盃 及 托	高11.5
46	"	青 磁	百 合 口 中 蕪 花 生	高25.5
47	"	青 磁	鉄 繪 文 水 注	高18.5
48	"	青 磁	鉄 繪 飛 鶴 文 瓶	高35
49	"	天 目	鉢 鉢	径18
50	李 朝	井 戸	鉢 鉢	径18
51	"	鷄 竜	繪 刷 毛 魚 文 瓶	高28
52	"	彫 刷 毛 目	鉢 鉢	高16
53	"		染 付 秋 草 文 壺	高11.5
54	"		辰 砂 面 取 壺	高16
55	"		鉄 砂 壺	高27.5

大陸渡来の太宰府地方発見品（外破片多数）

					(cm)	発見地
1	唐	越州窯	青磁	鉢	高22	二日市立明寺
2		越州窯	破片	一 括		福岡市平和台(鴻臚館址)
3	宋	青白磁	四 耳	壺	高21.3	太宰府近郊
4		青白磁	筒	(重文)	高34.5	伝粕屋郡四王寺
5		青褐釉	筒	(重文)	高41	粕屋郡四王寺
6		青白磁	盒	(重文)	高 3	"
7		青褐釉	筒	(重文)	高32.5	"
8		青白磁	小 壺	(重文)	高 3.3	"
9		青褐釉	六 耳 壺	(重文)	高36	"
10		青褐釉	筒		高34	"
11		黄褐釉	四 耳 壺		高20(現高)	"
12		青磁	(経筒の蓋に用う)		高26	"
13		青磁	碗		径17	"
14		青褐釉	経筒	筒	高38	太宰府近郊
15	宋	竜泉	浮牡丹青磁	壺	高39.6(現高)	粕屋郡四王寺
16		越州	水 注		高19.8	福岡市聖福寺内
17		天目	茶碗(張綱墨書銘)		径13	福岡市呉服町
18		黄釉	盤		径11	福岡市愛宕山下
19		青磁, 青白磁	壺, 彩画鉢一括	21点		福岡市今宿
20	宋	竜泉河浜遺範	銘青磁破片			太宰府近郊

ピカソ・ゲルニカ展

(2月23日—3月10日)

西日本新聞社、アート・フレンド・アソシエーション、当館共催。

後援外務省、文部省、協賛ニューヨーク近代美術館。会場1, 2, 3室。

ピカソの好意によって上記各位の協力のもとにニューヨーク近代美術館に寄託されているゲルニカの諸作を展示、開館以来最高の入館者数を記録。

1	フ ラ ン コ の 夢 と 嘘	31.7×41.8	エ ッ チ ン グ	1937. 1. 8
2	"	31.5×41.8	"	" " 4~7
3	コ ン ポ ジ シ ョ ン 習 作	21 ×27	鉛 筆	" 5. 1
4	"	21 ×27	"	" " "
5	"	21 ×26.9	"	" " "
6	馬 の 習 作	21 ×27	"	" " "
7	"	21 ×27	"	" " "
8	馬 の 頭 部 習 作	21 ×15.4	"	" " 2
9	"	26.9×21	"	" " "
10	コ ン ポ ジ シ ョ ン 習 作	52.5×63.5	"	" " "
11	"	59 ×71.6	"	" " "
12	馬 の 頭 部 習 作	64.8×92	油 彩	" " "
13	"	24 ×45.5	鉛 筆	" " 8
14	馬, 母 親 と 死 ん だ 児	24 ×45.5	"	" " "
15	母 親 と 死 ん だ 児	24 ×45.4	イ ン ク	" " 9
16	コ ン ポ ジ シ ョ ン 習 作	24.1×45.3	鉛 筆	" " "
17	馬 と 牛	22.5×12.5	"	" " 2~8
18	はしごの上の母親と死んだ児	45.2×24	"	" " 9
19	"	45.5×24	色 鉛 筆	" " 10
20	馬 の 習 作	24.5×45.5	鉛 筆	" " "
21	"	24.1×45.4	色 鉛 筆	" " "
22	"	45.4×24.1	鉛 筆	" " "
23	人間の顔をした牡牛頭部	45.4×24	"	" " "
24	人間の顔をした牡牛	23.8×45.5	"	" " 11
25	母 親 と 死 ん だ 児	24.1×45.6	色 鉛 筆	" " 13
26	折 れ た 剣 を 持 つ 手	24.1×45.3	鉛 筆	" " "
27	女 の 頭 部	45.3×24	色 鉛 筆	" " "
28	馬 の 頭 部	23.1×29	鉛 筆	" " 20
29	"	29.2×23.2	"	" " "
30	牡 牛 の 頭 部 習 作	23.1×29.1	"	" " "
31	"	23.1×29.2	"	" " "
32	女 の 頭 部	29 ×23.1	"	" " "
33	泣 く 顔 の 習 作	29 ×23	"	" " 24
34	顔	23 ×29.1	グ ワ ッ シ ュ	" " "
35	泣 く 顔 の 習 作	29.1×23.2	鉛 筆	" " "
36	落 ち て 行 く 男	23.2×29	グ ワ ッ シ ュ	" " 27
37	泣 く 顔	23.1×29.2	鉛 筆	" " "
38	母 親 と 死 ん だ 児	23.2×29.2	グ ワ ッ シ ュ	" " 28
39	泣 く 顔	23.1×29.1	"	" " "
40	母 親 と 死 ん だ 児	23.3×29.2	"	" " "
41	泣 く 顔	23 ×29.3	"	" " 31
42	泣 く 顔 の 習 作	23.1×29.3	"	" 6. 3
43	人 間 の 頭 と 馬 の 蹄	23.1×29.3	鉛 筆	" " "
44	泣 く 顔 の 習 作	23.1×29.3	グ ワ ッ シ ュ	" " "
45	"	23.1×29	"	" " "
46	手 の 習 作	23.2×29.2	鉛 筆	" " 4
47	人 間 の 頭 部 習 作	23.1×29.2	"	" " "

48	泣	く	顔	29	×23.1	鉛	筆	1937. 6. 8
49		"		29.2	×23.2	色	鉛	筆
50		"		29.1	×23.1		"	" " 13
51		"		55	×46.2	油	彩	" " 15
52		"		11.7	× 8.8	グ	ワ ッ シ ュ	" " "
53	母	親	と	死	ん	だ	児	" " 22
54	ハン	カ	チ	を	持	つ	泣	顔
55	泣	く	顔	55	×46.3	油	彩	" " "
56		"		69	×49.3	エ	ッ	チ
57	ハン	カ	チ	を	持	つ	泣	顔
58		"		69	×49.3		"	" " "
59	母	親	と	死	ん	だ	児	" " 4
60	泣	く	顔	25.5	×17.2	イ	ン	ク
61	ハン	カ	チ	を	持	つ	泣	顔
62		"		15.1	×11.4		"	" " 6
63	ゲ	ル	ニ	カ	130	×195	油	彩
					83.6	×56.8	鉛	筆
					55.2	×45.9	油	彩
					92.3	×73		"
					304.8	×670.6	タ	ピ
							ス	リ
							ー	1955

主 な 来 館 者

1962年度各種活動について

石橋美術館ニュースの発行と無料配布。

毎週土、日曜日その他随時作品の解説。

美術講演会、美術映画の会等の開催。

夏季洋画講習会の開催。美術関係の集会、展示等に対する階下オープンギャラリーの公開。

講 演 会 ・ そ の 他

4月14日	「九州の陶磁」	鷹 巢 豊 治 氏
	(映画) 一日本の陶磁, 有田の陶工たち, 前田青郁一上映	
4月15日	「九州の古陶磁の格調と観賞について」	永 竹 威 氏
	(映画) 一日本の陶磁, 有田の陶工たち, 前田青郁一上映	
4月22日	「近世時代の九州の陶工とその技法」	永 竹 威 氏
	(映画) 一日本の陶磁, 有田の陶工たち, 前田青郁一上映	
4月29日	「肥前赤絵の系譜と西欧陶業への影響」	永 竹 威 氏
	(映画) 一日本の陶磁, 有田の陶工たち, 前田青郁一上映	
5月6日	「東南アジアの美術の旅」	谷 口 鉄 雄 氏
	ス ラ イ ド 上 映	
11月3日	「ピカソの版画と模写による西洋名画展について」	谷 口 鉄 雄 氏
		高 田 力 蔵 氏
11月18日	「東洋古陶磁について」	小 山 富 士 雄 氏
12月5日	NHKTV 教 養 特 集	
	美 術 散 歩 「青 木 繁」 収 録	解 説 河 北 倫 明 氏
3月6日	「英国20世紀絵画の古典派とロマン派」	エリック・ニュートン氏

講 習 会

8月21日—25日（5日間）

第2回 夏季洋画講習会

当 館

講 師	佐賀大学教授・日展審査員	石 本 秀 雄 氏
〃	創元会々員・日展委嘱	鶴 甫 氏
〃		津 田 克 己 氏

階下ギャラリー展覧会

4月20日—26日	第1回 木彫り作品展	木 彫	木 美 会
5月1日—6日	第13回 西部水彩画協会展	水 彩 画	西 部 水 彩 画 協 会
6月8日—10日	口腔衛生強調学童ポスター展	小 中 学 生 絵 画	歯 科 医 師 会
6月25日—7月1日	福岡6大学美術展	洋 画	福岡6大学美術連盟
8月27日—9月2日	第2回 洋画講習会作品展	油彩・水彩・デッサン	石 橋 美 術 館
11月6日—11日	久保田 濟 美 個 展	洋 画	久 保 田 濟 美
1月10日—16日	久留米大学写真展「五家荘」		久留米大学商学部写真部
1月19日—20日	水天宮児童文化会新年揮毫作品展	小 中 学 生 書 道	水 天 宮 児 童 文 化 会
3月24日—29日	穴 見 清 個 展	洋 画	穴 見 清
3月30日—4月1日	白角折神社書画奉納揮毫大会	小中学生書道・絵画	白 角 折 神 社

ISHIBASHI-ART GALLERY

NONAKAMACHI, KURUME, FUKUOKA, JAPAN



久留米市 野中町 石橋文化センター

石 橋 美 術 館